

「夢があり誇りのもてる 20万都市づくり」 子ども作文

新鳥取市の未来を担う子どもたちの豊かな感性と想像力を第8次鳥取市総合計画の策定に取り入れようと、小学校5、6年生を対象に「夢があり誇りのもてる20万都市づくり」子ども作文の募集を行いました。

昨年12月中旬から1月末にかけて募集を行ったところ、47点の応募がありました。今回は、その中から最優秀賞に選ばれた作品を紹介します。



もりもと ありさ
森本 有早

「未来の鳥取市」

おうさか
逢坂小学校
(現在：気高中学校1年)

6年

こんにちは、鳥取市へようこそ。ところでみなさん、鳥取市はいつできたと思いますか。正解は2004年の11月1日です。今から約10年前ですね。そのときは鳥取市、気高町、青谷町、鹿野町、河原町、用瀬町、佐治村、国府町、福部村の9つの市町村が一緒になって新しい鳥取市になりました。その当時は人口20万人、全国で見れば人口は多くはないけれど市の面積とともに山陰で一番大きい市でした。

今では県外からも多くの人々が鳥取市に生まれ、外国の方々も多く住まれています。たくさんの方が住む理由がいくつかあります。

1つには鳥取市は自然が豊かなことが挙げられます。その豊かな自然を生かして、ふるさとづくり、まちづくりを進めたので近代的な街並みとふるさとの風景が共存しています。そのおかげで、野菜、魚、果物はほとんどが鳥取でとれたものです。とても新鮮でおいしいです。遊びでも、自然をそのまま生かした観光開発という点で成功しました。山が好きな方には鷲峰山で山登りすることもできます。鳥取県内には、他にも氷ノ山や大山などがあります。山登りだけでなく、雪が降る季節にはスキーをして楽しむこともできます。山だけでなく海で遊ぶこともできます。青谷はサーフィンのメッカです。それぞれの港にはつり公園があります。それから家族連れで楽しめる子どもの国、その他にも入場料を払って遊ぶ遊園地ではなく、だれもが気軽に訪れて寝ころぶことができ

る公園があちこちにありま す。鳥取砂丘にはみなさんもぜひ行ってみてください。砂丘にせずむ夕日を見てみると心が和むことでしょう。

2つ目には、鳥取の人々はみんな親切だからです。老人や障害のある方でも安心して暮らせます。合併当時、鳥取市は山陰で一番大きい市でした。しかし、人口や面積だけでなく、思いやりも一番になるとみんななでがなばってきたおかげだと思えます。

自然をそのまま生かしたまちづくりとしたいやりの心を一番にしたひとづくり、それが私の住む鳥取市のほこりです。

問い合わせ先

市役所本庁舎総合計画策定
チーム (0857) 201

3167